議会広報広聴委員会記録

令和6年8月26日（月）
13時30分～14時52分
第4委員会室

【出席者】 村武委員長、村木副委員長、
肥後委員、大谷委員、三浦委員、沖田委員、川上委員、上野委員、
西田委員、川神委員

【議長団】 笹田議長

【事務局】 下間局長、村山書記、小寺主任主事

議題

- 1 はまだ議会だよりVol. 75について……………資料1-1, 資料1-2
 - (1) ページレイアウト
 - (2) 掲載記事及び原稿提出締切
 - (3) その他
- 2 はまだ議会だよりminiについて……………資料2
 - (1) 第32号掲載内容及び原稿担当
 - (2) その他
- 3 第4回はまだ市民一日議会について……………資料3
 - (1) 運営方法確認
 - (2) その他
- 4 今後の広報活動について……………資料4
 - (1) 今後の広報活動
 - (2) その他
- 5 その他

【別紙会議録のとおり】

【会議録】

[13 時 30 分 開議]

○村武委員長

ただいまから議会広報広聴委員会を始める。出席者10名で定足数に達している。

1 はまだ議会だよりVol. 75について

(1) ページレイアウト

○村武委員長

書記から説明をお願いします。

○村山書記

(以下、資料を基に説明)

○村武委員長

まずレイアウトについて、今書記から提案をいただいたが、10ページの下が1名分空くののだが何か入れるか。

○村山書記

一般質問のページなので、質問しているようなイラストを入れるなど。

○村武委員長

何を入れるかアイデアがある方は発言をお願いします。今回は11ページ目に丸読みとして子どもの権利を考える議員連盟（以下、子ども議連）の記事を入れたい。前回も入れさせてもらったが、今回は議連に動きがあると聞いているのもう一度議連の記事を入れたい。

○三浦委員

それはどこの議連か。

○村武委員長

子どもの権利を考える議員連盟である。できれば石見神楽振興議員連盟も。

○川神委員

前回も出たが。

○村武委員長

先般、意見交換会をしたので。

○川神委員

言われれば書く。

○村武委員長

いかがだろうか、一番下の1名分の余白については。

○村山書記

はまだ市民一日議会（以下、市民一日議会）の詳細ではなく簡易的なお礼であれば出せるかと思う。

○川上委員

それで良いのでは。

○村武委員長

ではそれを入れたい。よろしいか。

(「はい」という声あり)

あとのレイアウトに何か意見があればお願いします。

(「なし」という声あり)

(2) 掲載記事及び原稿提出締切

○村武委員長

では役割を決めていきたい。

(以下、協議)

表紙……三浦委員

9月定例会議 今回はこれがポイント……村木副委員長

9月定例会議トピックス……大谷委員、三浦委員

令和5年度決算……3常任委員会委員長へ依頼

議会ニュースまるよみ……子ども議連、神楽議連 (執筆者は議連内で相談)

市民対談 (和田のRMO) ……上野委員、川上委員

委員会活動レポート……各委員会委員長へ依頼

後書き……川上委員

(3) その他

○村武委員長

その他何かあるか。

(「なし」という声あり)

2 はまだ議会だよりminiについて

(1) 第32号掲載内容及び原稿担当

○村武委員長

書記から説明をお願いします。

○村山書記

(以下、資料を基に説明)

○村武委員長

では掲載項目を2項目決めたい。意見はあるか。委員会からの速報みたいな情報はあるか。

○沖田委員

総務文教委員会では、あいのりタクシー事業の事務局を担っている15まちづくりセンターへ、手分けして聞き取り調査中である。

○村武委員長

では一つは総務文教委員会から取組課題について書いてもらえるとのことで、沖田委員にお願いします。

もう一つないか。

○三浦委員

ハラスメント研修のことはどこかに載るだろうか。

○村山書記

議会運営委員会主催になるので、次の議会だよりに載せることになる可能性はある。

○村武委員長

ではハラスメント研修について、最近miniの原稿を書いてない方は積極的に手を挙げてもらいたい。

○肥後委員

私が書こう。

○村武委員長

では肥後委員にお願いします。9月13日金曜日の12時までに提出願う。

つぶやきをどなたか担当いただきたい。折居駅100周年イベントに行かれた方はいるか。いなければ私は行ったので、私が書こうか。

○西田委員

他人事ながら自分がつぶやくなら、例えば国府海水浴場は20、30年前とえらい違いでどうしたものか、というのはどうか。

○村武委員長

国府海岸の案も出たがどうか。

○沖田委員

少し華やかさがないので、あまりふさわしくない。

○村武委員長

では折居駅100周年について書かせていただいてよろしいか。

(「はい」という声あり)

(2) その他

○村武委員長

miniについて、そのほか何かないか。

(「なし」という声あり)

3 第4回はまだ市民一日議会について

(1) 運営方法確認

○村武委員長

書記から説明をお願いします。

○村山書記

(以下、資料を基に説明)

○村武委員長

書記から説明された役割分担案でいかがだろうか。

○川上委員

委員を配置するのか。

○村武委員長

はい。

○川上委員

これで良い。

○村武委員長

これでよろしいか。

(「はい」という声あり)

では受付と誘導係と事前説明係を決めたい。

(以下、協議)

受付……三浦委員、沖田委員

事前説明係……村木副委員長、西田委員

誘導係……肥後委員、大谷委員、上野委員、川神委員

報道対応……村武委員長

当日の流れなどを再度確認されたい。市民一日議会については次回全員協議会に皆に説明するようにしていただろうか。

○村山書記

9月9日で応募締め切りになり、応募締め切り後の委員会にて発言者が確定した後の全員協議会にて説明をする。

○村武委員長

市民一日議会の運営方法について何かあるか。昨年の反省を踏まえた変更点や、音楽をどうするかなど。

○村山書記

事前説明した後に大体15分程度静かな時間があり、そこで音楽を流したら良いとか、実際に発言の練習をしたほうが良いなどの意見が出ていた。それ以外にも改善点などを協議いただければと思う。

○村武委員長

落ち着いた音楽を流そうと思うがよろしいか。音楽についてはこちらに一任いただけるか。

(「はい」という声あり)

発言者に事前に議場でマイク前に立つなどしたら良いのではという意見があったが、それに関してはどうか。時間は取れそうか。

○村山書記

はい。

○川上委員

時間が取れるならやったら良い。

○村武委員長

こちらもさせていただいてよろしいか。

(「はい」という声あり)

○村木副委員長

事前テストは事前説明担当がやるのか。誰かが案内するのか。

○村武委員長

議場に入って事前説明が終わった後が良いだろう。

○村木副委員長

事前説明業務の一環としてやるという考え方で良いか。

○村武委員長

それをお願いします。

(2) その他

○村武委員長

市民一日議会に関して、ほかに何かあるか。

(「なし」という声あり)

実は市民一日議会、今年度の申込みが現在まだゼロである。私も声を掛けてはいるのだが、皆もぜひ声掛けをしていただきたい。どなたか知り合いで出そうな方の情報をお持ちでないか。去年は高校生が結構出られたが。

○大谷委員

2学期が今秋から始まったので、これからかと思う。ちなみに去年のこの時期の申込みは何人だったか。

○村山書記

正確な数字ではないが、大体2、3名くらいだった。

○村武委員長

いつぐらいから増えてくるものか。

○村山書記

9月に入って締切り日に近づくとつれ増える。

○村武委員長

これから増えるかもしれないが、今の状況では寂しいので、できれば皆に一人ずつ声掛けしてもらいたい。ただし10人を超えると抽選の可能性もあることは説明してほしい。

4 今後の広報活動について

(1) 今後の広報活動

○村武委員長

前回SNSのオンライン研修を受けての感想と、SNSの今後の運用に関する提案を皆からいただいた。SNS研修を受けてどのように感じたか、一人ずつ意見をいただきたい。

○肥後委員

市民に情報が伝わらないといけないので、SNSなどデジタルの活用を十分考えていかないといけないと思った。はまだ議会だよりを全戸配布しているが、やはり見る人は見る、見ない人は見ない。分かれてしまうが、より多様な情報伝達手段があるほうが良い。新たな手法として考えていく必要がある。

○大谷委員

これからのことを考えればデジタル活用は避けて通れないと思うが、研修のようにやるのは大変だと思った。SNSというよりも先にホームページかと思う。ホームページのほうが見る人も多いため、最大公約数的にはホームページを改良していくのが先かと思った。

○三浦委員

研修を通じて広報の考え方は非常に分かりやすく説明いただき理解につながった。POTETOの役割として発信側・受信側の周波数が異なる現状を調整する役割と言われていたが、議会そのものがそういう役割を持っているという認識で、我々の広報活動も行っていく必要があると思った。

ホームページのデザイン効果も、やはり情報を取ろうとする姿勢にもつながるといふことで。いろいろな情報が掲載されているが、より見やすいよう配慮ということでリニューアルは必要だと改めて思った。

SNSの導入については、確かに情報発信チャンネルが増えるので一定の広報効果はあると思うが、広報活動全体で何をどのように発信していくのかを整理して、SNSを活用して何を発信するか整理した上で導入するのが良い。

○沖田委員

書いてあるとおり、SNSを否定するものではないが、そもそも何を伝えていくかが大事である。市民一日議会、地域井戸端会の周知にしても伝えたい情報を1ページ使ってでも大きな文字で書くほうが良いという、まさにそのとおりの指摘もあった。そういうことも含めて、そもそも広報というものをもう少し研究していく必要があるのではないか。

○川上委員

書いてあるとおりである。確かに必要かもしれないが議員がやることは何かということをもう一度考える必要があるのではないか。

また、その他に書いたがあくまでも手段として取り入れるのは良いが、うまく利用して議会本来の活動を忘れないようにしたい。議会の広報はあくまでも手段と考えた。

○上野委員

勉強にはなったがしっかり分からないところがあった。より多くの市民に分かり

やすく、特に政治に無関心の方をいかに結び付けるか、デジタルを活用してできるのかもしれない。今から皆と勉強して良い方向へ結び付けたい。

SNSについては今後勉強しながらやってくことで、今行っている広報活動より充実させるようなことをしていくのが先ではないかと思った。

○西田委員

デジタルを活用すれば良いと思ったが、POTETOさんが実際に関わっている自治体においても相当な金額でされている。それだけのデジタルを活用するならそれだけの経費も必要になってくるのだろう。また、いろいろな方がおられるので地域特性にも寄り添い、人として深掘りしながら近づいていくやり方もあるのではないか。議会が動くときにはかなり堅苦しいイメージがあるが、そのイメージを一度リセットして、議会であっても楽な雰囲気、市民から目を引くインパクトがあるようなやり方でも良いのではないかと思った。

○川神委員

西田委員が言ったように、やるとなるとあれだけ金が掛かるのかとは思った。もう少し手作りで、いかに自分たちの身の丈に合ったものを出していけるかが大事である。精度の高いものを作ると当然金は掛かるということを改めて認識した。

ここにも書いたが、SNSは今後の時流なので当然乗っていかないといけないが、ツールだけに頼り過ぎるのは非常に危険だと思っている。何を誰に伝えるかが明確でないといけないし、本当に伝えるのでも市民が望んでいたり気付きになるようなものが与えられているかどうか。単に情報だけ流れてきてそれをスルーするだけのものでは、広報の意味があるだろうか。何を伝えるかが大事である。

また、ホームページについては第1面のトップ画面がすごく重要という話があったが、ホームページの充実には本気で取り組まないと、浜田市議会のホームページに何度も訪れていただくよう力を使わないと、単に発信ツールだけではなくそこを充実しないと本当に必要な情報が届かない、次につながらない。

○村木副委員長

研修のポイントということで、政治の電波塔としての周波数に合わせる必要性。また検索の方法は確かにスマートフォンが主流であると思った。何を誰にどう分かりやすく伝えるかというグラフィックが今回の研修ではすごく新鮮で、取り組みたいと思った。グラフィック的なものは伝わりやすいと思った。

広報については今もホームページがあるのと、可処分時間を意識する。実は今回消防団に関する一般質問をするのだが、ホームページやチャンネルを合わせるといったことなどいろいろと参考になったので、議会だけでなく人に伝える大切さをすごく学んだと思う。

○村武委員長

私が当委員会の委員になってから3年目くらいからか、SNSの運用について委員会で取り上げられたと思う。そのときから私自身はSNSの広報は今の時代に必要だと感じていた。大学生や高校生から意見を聞いて必要性を強く感じていた。これを進

めていきたいと私自身も感じていたのだが、先日の研修を聞いて、SNSではなくもっと自分たちでまだできることがあるのではないかと感じた。SNSを運用するとなるとかなり負担もあるので、そこを考えたときに、負担もそれほどなくもっと広報する手段もあるのではないかと感じた。各議員が広告塔になる、興味や接点がある人に届けることを考えたり、傍聴者に向けても広報する、まずそういったところからやってみたらどうかと感じた。

皆の意見を伺った。以前から検討していたSNSの運用に関しては、今すぐに進めるという感じでもないのかとは思った。それよりもホームページの充実や、広報自体をどのようにしていくかをもう少ししっかり考えるべきではないかという意見があったかと思う。今回の研修に関しては、SNSを運用していくかどうかが一つあったのだが、そういった意味ではこれからSNSを進めていくか、それとも一旦ここで置いてほかのことを考えるか。そこを決めたい。私は一旦ここでSNSのことは少し休止して、また時期が来たら検討したいと考えているが、皆に意見があればお願いします。

○川上委員

それで良いと思う。

○村武委員長

SNSに関しては一旦休止でよろしいか。

(「はい」という声あり)

先ほど言ったようなできることもあると思うし、ホームページの充実なども考えていきたいが、これについては前委員長もずっと言っておられた。予算的なこともあるしどのようにしていくかもあると思うので、ホームページを充実する上でどういったことを考えていけば良いか。何から考えていけば良いか。

○三浦委員

もちろん今回話を聞いたPOTETTOに広報を依頼すればお金が掛かる。お金を掛けてでもやっている自治体があればあるということは、それだけ重要だということである。そこを認識しなければいけない。もちろん限られた予算の中でできることとできないことがある。外注はなかなかできないが今の何がそれに代わるか。SNSの議論をやめるのは簡単だが、ではできることとは何かという議論を併せてやらねば、SNSもやらずにできることをやっていだけなら、できてないことを継続して引っ張っていくことになる。ある部分はお金を掛けても解決しなければいけないものか、広報よりももっと別の分野に力を入れてやるべきなのか、そういうもう少し大きなところも議論しなければいけないと、皆の意見を伺いながら思った。

ホームページも我々が作れるわけではない。今は情報はとにかく早くたくさん上がっている。浜田市議会はほかの議会に比べても、かなり情報を早く出している。これは事務局のおかげもあってできていると思う。ただしそれが、見やすいようにデザインされているかという視点では、考える余地があると思っている。POTETTOでなくてもホームページを作っている事業者からも話を聞いてみて、どういうところがどうなるともっと良くなるかを伺う。それはここで議論していても多分出てこないと

思うので、実際に複数の事業者に提案してもらったり意見を聞いたりしても良いのではないかと。もちろん費用が伴うことである。私が委員長をやっていたときも必要性はずっと述べてきたが、予算要求には至らなかったのは、全体の議会費の中でそれを計上するよりほかにやる可能性があるという、優先順位に引っ掛からなかった。そこを引っ掛けるには、少なくとも当委員会の中でホームページのリニューアルがこういう理由で必要なのだと、予算要求時にしっかり戦える根拠を持たないと、ここで議論しても結局はそこまで持っていかないと、ただ議論して終わってしまう。今回の研修で必要性を多くの議員が感じたのであれば、しっかり予算要求するくらいまでロードマップのようなものを立てるため、正副委員長にはそのリーダーシップを持って引っ張っていただきたい。

○村武委員長

ホームページも併せてご意見をいただいたが、皆はいかがか。

○川神委員

三浦委員の言われるとおりにかなり経費が要るだろう。浜田市内や浜田市がお世話になっているウェブデザイナーは結構多い。そういったところと言えば意見ももらえるし、必要によっては経費もきちんと支払う。スピード感に関しては現在の浜田市議会ホームページも皆のおかげで充実していると感じている。しかしこれに何が足りないか、何が加わると市民が食い付くのか。それによってレスポンスがあって議会とのやり取りができるようなものが何なのかを議論する。

もう1点は、例えばホームページ内にうまく反映させるためにこういったところと意見交換しながら、良い費用対効果となるようなリニューアルに向けて一歩進めることから始めても良いのではないかと。

○村武委員長

これは当委員会の活動にとって重要なことだと思うので、皆意見をよろしく願います。こういったところが足りないのか皆の意見も必要だと思う。先ほど三浦委員が言われたように、ホームページ事業者の視点もあると思う。まずは皆で浜田市議会ホームページのこういうところをもう少し直したほうが良いのではないかと、ホームページ改修には予算も掛かるが、まずは意見を出していただけたらと思う。今日のことにはならないと思うので宿題にさせていただき、次回に意見をいただきたい。

予算や時間を掛けなくてもできることもあるかと思う。そこも次回の委員会で意見をいただけたらと思うので、宿題として考えていただけたらと思うがいかがか。

○沖田委員

ホームページはどうしても直すのか。

○村武委員長

必要があれば。先ほどからやはりホームページの充実、ホームページを見直したら良いという意見があったので、必要だと思う部分があれば意見を出してほしい。予算も関わることだと思うので、そこまではする必要はないのか。そこを決めていきたい。

○沖田委員

見た目やデザインは人によるセンスがあるので私には分からないが、一つ言えるのは浜田市議会のホームページが充実していないとは思ってない。むしろここまで公開するかというくらいやっているように思う。確かに固さはあるが議会のホームページなので、華やかである必要はない。私はそれほど違和感を持ってこのホームページを見たことがない。ちなみにこのホームページは誰が更新しているのか。

○村山書記

職員がやっている。

○沖田委員

頑張っているから良いのでは。

○村武委員長

もちろん事務局の皆には十分頑張ってもらっていると思う。委員の意見としてホームページの充実や見直しという意見があったので、必要がないと思う方はそれで良いし、修正や改善点の案があれば伺いたい。それを次回までにお願ひする。

○川上委員

今は決算で忙しいのだが。

○村武委員長

いつ頃が良いだろうか。

○村山書記

今後の開催予定だが、まず9月13日金曜日の予算決算委員会後。市民一日議会の申込み締切りが9月9日なので、それに関しての抽選等をそこでやりたいのと、申込者への通知案をここで確認させてもらえればと思う。

次が10月4日、議会だより75号の校正作業が9時から入っている。

○村武委員長

どうだろうか。やはり9月13日までにとするのは難しいだろうか。

○西田委員

思いがなければ出さなくても良い。無理に何か出さないといけないということはない。

○村武委員長

簡単でも構わないので、一応9月13日に意見を伺いたい。意見がない方はそれでも大丈夫である。ホームページのことと、できること。予算や時間などあまり負担を掛けずにできることがあると思うので、そちらについて意見をいただけたらと思う。よろしくお願ひする。

(2) その他

○村武委員長

その他、何かあるか。

(「なし」という声あり)

5 その他

○村武委員長

次回開催日程は先ほど事務局から言ってもらったが、9月13日金曜日、予算決算委員会後に市民一日議会の申込み後なので抽選と10月4日金曜日の9時から議会だより75号の校正をしたいが、皆の都合はいかがか。

(以下、日程について協議)

では当初の予定どおり10月4日金曜日の9時からとしたい。欠席の方もおられるので事前にSidebooks内に校正内容を上げるので確認して意見をいただきたい。校正はいつ上がってくるだろうか。

○村山書記

10月2日に提供予定なので、提供されたらSidebooksにアップロードする。

○村武委員長

10月2日に校正内容をアップしてもらえるので、欠席者は確認して意見等を事務局に送ってもらいたい。よろしく願います。もしオンライン出席が可能なようであれば、事務局まで連絡をお願いします。

以上で議題は終了するが、その他何かあるか。

(「なし」という声あり)

では、議会広報広聴委員会を終了する。

[14 時 52 分 閉議]

浜田市議会委員会条例第65条の規定により、ここに委員会記録を作成する。

議会広報広聴委員会委員長 村武 まゆみ